

## 【実施による工夫と得られる効果の検証】

### ■実施による工夫

- ①理事以外の会員も記念誌本体の確認作業に加わる。
- ②印刷業者と事務局担当者双方で創立 70 周年記念誌データを作成及び修正できるようにし、マスターデータを保管する。
- ③記念誌をデータでも配信し、四日市青年会議所のトップページからも閲覧できるようにする。

### ■得られる効果

- ①記念誌本体の確認作業を通じて、四日市青年会議所のあゆみを振り返り、今後の青年会議所運動を展開する一助とする。

### 【検証】

複数名で校正データを共有しながら確認作業を行った結果、誤字脱字の修正だけでなく、当時を知る会員から意見をいただいたり、現役会員の読み手視点からの指摘も得ることができた。時間は要したもの、内容の正確性と客觀性が向上しただけでなく、過去のから現在、今後について考えながら作業することができ、少人数での確認よりも効果的であったと考える。

- ②編集担当者でも作成及び修正ができるので、都度の修正にも追加費用無しで対応できる。マスターデータを残せるので次回以降に作成データを引き継げる。

【検証】今回記念誌作成に使用したアプリは「Adobe Illustrator」というメジャーなものであり、事務局メンバーにアプリ所有者とアプリの使用方法覚えたいと考えているメンバーがいたため、印刷業者だけでなく事務局担当者でも作成及び編集が可能であった。メジャーなアプリであるため、次回以降の記念誌作成時に参考資料として利用できる。事務局担当者でも作成及び修正ができるので、都度の修正にも追加費用無しで対応できた。マスターデータを残せるので次回以降に作成データの引継ぎが可能になった。

- ③誌面を持ち歩いていなくても、簡単に人に見せることができる。またホームページのトップにリンクを載せることにより、更に多くの方々に閲覧していただけるようになる。

### 【検証】

創立 70 周年記念式典及び祝賀会に来賓としてご招待させていただいた方と雨港國際青年商會及び贊助会員には、印刷した紙媒体の記念誌を送付した。そのほかの四日市 JC シニアクラブ会員及び現役会員、研修生にはデータでの配信を行い、希望者には有償(実費精算)で紙媒体の記念誌を送付するように案内を送ったが、対象者 456 名+49 名の計 505 名中 16 名の注文となり、紙媒体の注文率は約 3% に留まった。